



ぴよんぴよん通信 9月

vol.62 2018・9

発行者

日立市社会福祉協議会
十王子どもの広場
南部子どもの広場
問合せ先 37-1122

まだ暑い日も続きますが、暦のうえでは秋です。
ブドウ狩りやナシもぎなど、秋はおいしい果物がいっぱい。
子どもたちと一緒に収穫の喜びが感じられるといいですね。



広場開設案内

| | 十王子どもの広場 | 南部子どもの広場 |
|-----|------------------------------------|-------------------------------------|
| 開設日 | 毎週月・火・水・金曜日 | 毎週水・木・金・土曜日 |
| 時間 | 午前9時から 午後4時まで | 午前9時30分から 午後4時30分まで |
| 場所 | 日立市十王交流センター 児童室 (十王町友部129-2) | 日立市立南部図書館 おはなしの部屋 (久慈町3-24-1) |



十王子どもの広場

9月の日程

南部子どもの広場



3日(月) 身体計測

18日(火)

10日(月) 講座『ベビーダンスを楽しもう!』
(対象児以外の託児有)

26日(水) 講座『ミュージックケア』(0歳児の託児有)
受付開始 9月12日(水) 午前9時30分～

○今月のぴよんぴよんタイム(毎週水曜日 10:30～11:00)
5日・12日・19日・26日

○今月のペンギンタイム(毎週金曜日 10:30～11:00)
7日・14日・21日・28日

ぴよんぴよんタイム・ペンギンタイムは、手遊びや読み聞かせなど、親子のふれあいを目的に、毎週おこなっています。気軽にご参加ください!

～10月の講座



『歯の健康(ブラッシング指導)』

日時 10月29日(月)
10時30分～12時

場所 十王交流センター 和室

講師 市健康づくり推進課 歯科衛生士

対象 乳幼児の保護者

内容 講話とブラッシング指導

参加料 無料

持ち物 歯ブラシ

受付開始
10月10日(水) 午前9時30分～



※参加希望者は、申し込み(37-1122)してください
※講座の間お子さんをお預かりします(託児)→先着20名



『幼児食の調理実習と 栄養のお話』

日時 10月30日(火)
10時～12時

場所 水木交流センター調理室

講師 市健康づくり推進課 栄養士

対象 乳幼児の保護者(先着15名)

参加料 200円

持ち物 エプロン・三角巾・ふきん2枚

受付開始
10月11日(木) 午前9時30分～



※参加希望者は、申し込み(37-1122)してください
※講座の間お子さんをお預かりします(託児)→先着15名



おすすめえほん



9月9日は救急の日

☆子どもの事故を防ぎましょう！

予防のpoint



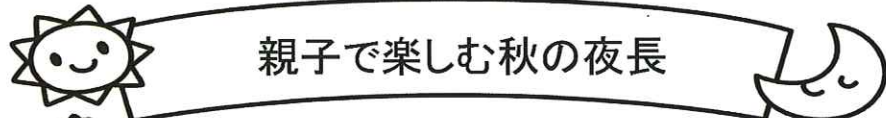
『ねないこ だれだ』

作 せな けいこ

時計が9時をさしています。「とけいかなります ボンボンボン こんな時間におきているのはだれだ？ふくろうにみみずく、くろねこどらねこ、いたずらねずみ、それともどろぼう？いえいえ夜中はおばけの時間」と登場してくるキャラクターは画面いっぱい、可愛らしい貼り絵で描かれています。このお話の最後は寝ない子がおばけになっておばけの世界に連れていかれてしまいます。子どもたちには大変印象的なことでしょう。

怖いけどもう一回みたくなる、読み方によっても印象の変わる絵本だと思います。お子さんと色々読み方を変えて楽しむのもいいでしょう。

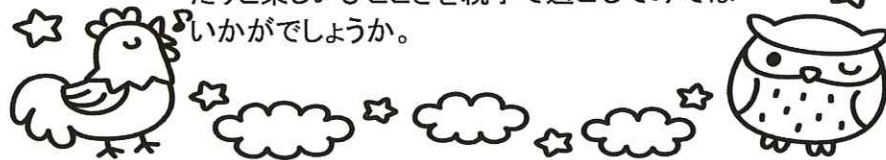
作者のせなけいこさんはこの絵本のおばけは「怖いけど、かわいい、友だちになれるおばけ」をイメージして描いたそうですよ。



親子で楽しむ秋の夜長

秋分の日、太陽は真東から昇って真西に沈みます。昼と夜の長さがほぼ等しくなり、この日を境に、日が沈むのがだんだん早くなり、夜が長くなっていきます。

秋の夜長、ゆっくりお話したり、絵本を読んだりと楽しいひとときを親子で過ごしてみたいかがでしょうか。



新生児
～6か月

窒息事故

転落事故

- 寝具の環境を整える。
 - ・布団は固めのものを選ぶ。
 - ・タオルや布団で赤ちゃんの顔を覆わないようにする。
- 添い寝をしながら授乳しない。
- 少しずつ動いて移動していることがあるので、ベッドの柵は必ず上げておく。



7か月
～11か月

転倒・転落
縁側・玄関
ベビーカー
階段から
転落するなど

やけど
誤飲・中毒

- ハイハイやつかまり立ちができ、動き回るようになり、いろいろな事故が起こりやすくなるので、子どもから目を離さないようにする。
- 子どもの身の回りや手の届くところに誤飲ややけどにつながるようなものは置かない。



1歳
～4歳

溺水

交通事故
誤飲・中毒

- 浅い水でも浴槽で溺死することがあるので、浴槽の水を抜いておく。
- 風呂場には鍵をかけておく。
- 危険なことをした場合に毅然とした態度でしかる、などの安全のしつけをする。